

西田博士から託された課題
～西田哲学の実践化

=== 目次 ===

第1章 場所の論理と自己の階層	1
第1節 場所の論理は世界最高の論理	(1)
第2節 西田哲学の核心「場所の論理」	(2)
第3節 場所の要素	(4)
第4節 自他不二の哲学	(5)
第5節 叡智的自己是独断的傾向	(7)
第6節 人格的自己	(9)
第2章 仏教の現代的活用の遅れ	11
第1節 時代錯誤の仏教という西田幾多郎	(11)
第2節 哲学者による従来 of 仏教批判	(13)
第3節 仏教学者による従来 of 仏教批判	(14)
第4節 西田の親族による西田哲学の学習批判	(14)

参照文献 _____ (15)

注 _____ (16)

凡例

1. 本書は、『場所の論理と自己の階層』（大田健次郎、マインドフルネスのための西田哲学入門(3)）と対になった内容であり、これを前提にしている。これを参照しながら読んでいただきたい。

1. 本書では、上掲『場所の論理と自己の階層』を〔入門3場所：XX 頁〕と略す。XXは頁。

1. 西田幾多郎の著作からの引用は、岩波書店、西田幾多郎全集（昭和40年～41年）により、第11巻54頁の場合〔西田11:54〕のように、巻数と頁を表示する。引用にさいしては現代仮名遣い、現代漢字に書き改めている。

1. 引用する人の敬称は省略させていただいた。